

平成27年度熊本県における水銀フリー推進に関する取組み

①水銀含有廃棄物の適正処理の推進

水銀含有廃棄物の回収促進、研修会の開催

家庭向け

＜水銀体温計、血圧計回収＞

- 県民向け講演会(11月30日)
 - ⇒・掃除のカリスマによる講演
 - ・12月の大掃除の時期に合わせた水銀体温計等回収キャンペーン周知
- 家庭に眠る水銀体温計等の回収キャンペーン(12月)
 - ⇒市町村庁舎窓口等で集中回収



＜ボタン電池回収＞

- 電池工業会のボタン電池自主回収と連携した取組
 - ⇒・全国初の取組
 - ・補聴器店等への回収協力店登録呼びかけ
 - ・啓発シール配布、ミニ旗掲示により、ボタン電池の適正回収の推進



※蛍光灯は、H26年10月から県内全市町村で分別回収が実現

事業者向け

- 市町村、事業者向け研修会(9月2日)
 - ⇒熊本県の水銀フリーの取組、廃棄方法等の周知
- 医療機関に眠る水銀体温計等の回収促進
 - ⇒・医師会が回収、処理委託
 - ・県が回収マニュアル提供、処理費の一部補助等により支援



安全かつ効率的な収集運搬・処分する仕組みの構築

- ・市町村、事業者、有識者による検討会を開催(第1回10月、第2回12月、第3回2月開催予定)
 - (検討項目)
 - 水銀回収すべき廃棄物の明確化
 - 安全かつ効率的な収集運搬方法の確立
 - 安全な中間処理(破碎、水銀回収)の基準の設定
- 2月に提言を取りまとめ、次年度、市町村や事業者の指導に反映



- ・県、市町村の水銀体温計等の廃棄予定量調査⇒使われていない水銀体温計等が多く存在
- ・県庁舎の分別区分に「ボタン電池」等の水銀廃棄物を新設し、各課に通知済み



②水銀専門家の育成支援等(留学生への奨学金制度)

⇒新たに2名(タイ、中国 男性)を受入れ(H26年度2名)

③国内外に向けた情報発信

⇒水俣条約2周年行事の開催、廃棄物学会での発表、イベントでのブース出展、県政テレビやラジオ、新聞広報等

※水銀フリー社会の実現に向けた率先行動

- ・県有施設、道路・トンネル等へのLED照明導入

